

令和7年度 第1回

安城市博物館協議会

令和7年6月8日（日）

午後2時00分～

歴史博物館・講座室

1 委嘱辞令公布

2 あいさつ

3 協議事項

（1）令和6年度事業報告

（2）令和7年度事業計画（案）

4 その他

（1）購入希望資料について

（2）今後の日程

- ・第2回 9月下旬～10月上旬開催予定
- ・合同研修 11月6日（水）※場所未定
- ・第3回 令和8年2月開催予定

（3）観覧

安城市博物館協議会委員

(任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日)

	氏 名	選任区分	備 考
委 員	永井 江美子	社 会 教 育 (安城文化協会副会長)	新任 ※4月30日より委嘱
委 員	奥 川 正 規	学 校 教 育 (安城市小中学校校長会)	新任
委 員	小早川 道子	学 識 経 験 者 (中京大学准教授)	新任
委 員	高 山 忠 士	学 識 経 験 者 (本館元館長)	再任
委 員	曲 田 浩 和	学 識 経 験 者 (日本福祉大学教授)	新任
委 員	内 藤 路 子	公 募 委 員	新任

安城市民憲章

わたくしたちは安城市民です。
わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた
生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、
この憲章を定めます。

わたくしたちは、

- *たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましょう。
- *きまりを守り、良い習慣を育てましょう。
- *自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくりましょう。
- *教養を高め、若い力を育てましょう。
- *健康で、明るく楽しい家庭をつくりましょう。

—昭和47年11月1日制定—

●安城市民憲章推進協議会●

(1) 令和6年度事業報告

ア 利用状況

(ア) 月別入館者数 (単位：人)

月	展示観覧者						行事参加者	文献資料室 利用者	その他	延べ入館者 合計
	有料		無料		計					
	大人	計	大人	計	大人計	合計				
			中学生以下		中学生以下計					
4	193	193	911	1,138	1,104	1,331	354	4	569	2,258
			227		227					
5	291	291	1,581	2,807	1,872	3,098	1,274	6	528	4,906
			1,226		1,226					
6	184	184	1,458	3,518	1,642	3,702	621	5	365	4,693
			2,060		2,060					
7	2,522	2,522	1,601	2,685	4,123	5,207	3,900	29	322	9,458
			1,084		1,084					
8	4,331	4,331	3,221	4,551	7,552	8,882	8,751	37	238	17,908
			1,330		1,330					
9	1,797	1,797	1,382	2,160	3,179	3,957	2,764	4	367	7,092
			778		778					
10	1,302	1,302	1,128	1,606	2,430	2,908	1,123	9	1,359	5,399
			478		478					
11	823	823	817	1,823	1,640	2,646	415	11	405	3,477
			1,006		1,006					
12	969	969	891	2,051	1,860	3,020	3,971	15	723	7,729
			1,160		1,160					
1	1,293	1,293	1,290	1,497	2,583	2,790	2,614	6	301	5,711
			207		207					
2	214	214	2,402	2,800	2,616	3,014	4,815	15	310	8,154
			398		398					
3	303	303	1,910	2,843	2,213	3,146	5,305	10	578	9,039
			933		933					
計	14,222	14,222	18,592	29,479	32,814	43,701	35,907	151	6,065	85,824
			10,887		10,887					

(イ) 利用形態別入館者数 (単位：人)

月	企画展 観覧者	常設展 観覧者	講演会	歴博講座	体験講座	連続講座	入門講座	自主事業	歴博イベント	歴博演芸場	企画展 関連イベント	文献資料室	その他	延べ利用者 合計
4	999	332	0	0	0	27	0	0	89	0	238	4	569	2,258
5	2,134	964	37	0	333	29	0	0	27	0	848	6	528	4,906
6	2,525	1,177	0	16	0	28	0	0	27	0	550	5	365	4,693
7	3,108	2,099	58	0	48	0	0	0	0	0	3794	29	322	9,458
8	5,514	3,368	0	18	30	0	0	181	0	42	8480	37	238	17,908
9	2,134	1,823	56	0	0	0	0	30	39	0	2639	4	367	7,092
10	1,819	1,089	44	0	0	10	0	60	100	193	716	9	1359	5,399
11	1,061	1,585	0	40	32	0	0	38	0	0	305	11	405	3,477
12	1,702	1,318	43	72	12	25	0	0	0	0	3819	15	723	7,729
1	1,604	1,186	32	0	0	19	0	0	0	53	2510	6	301	5,711
2	2,651	363	0	0	21	34	0	40	3586	0	1134	15	310	8,154
3	2,494	652	45	19	0	14	0	13	3306	593	1315	10	578	9,039
計	27,745	15,956	315	165	476	186	0	362	7,174	881	26,348	151	6,065	85,824

その他内訳

部屋利用等	1,905 人	職場体験	(延べ) 101 人
安祥文化のさとまつり	790 人	多目的利用	
			3,251 人
博物館実習	(延べ) 18 人		

<参考> (単位：人)

行事名等	5年度	6年度	行事名等	5年度	6年度
展示観覧者	55,307	43,701	歴博イベント	11,500	7,174
講演会	452	315	歴博演芸場	699	881
歴博講座	158	165	展示関連イベント	7,925	26,348
体験講座	538	476	文献資料室	179	151
連続講座	210	186	その他	6,021	6,065
入門講座	59	0	合 計	83,048	85,824
自主事業		362			

(ウ) 収蔵資料貸出状況

a 資料貸出 5件 (9点)

安城高女学報、聖徳太子絵伝第5幅模写、人面文壺形土器、人面文球形土製品（寄託）、八ツ塚古墳出土内行花文鏡、北本郷古墳出土内行花文鏡など

b 画像提供 16件 (38点)

本證寺蔵聖徳太子絵伝、丸富本店の和菓子作り道具、和泉そうめん製造道具、本證寺伽藍絵図、新形三十六怪撰第42「四ッ谷怪談」、本證寺門徒連判状、筆勢非凡、など

c 資料調査・その他 8件 (32点)

西別所町内会資料（寄託）、西尾町内会資料（寄託）、ガラス乾板、アルバム、聖徳太子絵伝第5幅模写、人面文壺形土器、明治用水頭首工模型、山崎延吉日記など

イ 収集・保管活動

(ア) 寄贈資料 11件

・川島町西心寺資料	近代、防寒帽、防寒脚絆
・今本町神谷家資料	近世、襖下張り
・アンフォーレ課移管資料	安城高等女学校関係資料
・新美南吉に親しむ会寄贈資料	新美南吉関係資料
・尾崎町神谷家資料	碧海郡農会報類
・横山町横井家資料	近代、官報
・今本町神谷家資料	近代、和装本、証書、日記類
・古井町稲垣家資料	山崎延吉掛軸
・今池町板倉家資料	満州事変関係史料

- ・藤井町神谷家資料
- ・古井町岩瀬家資料
- 山三みかん園関係資料
- 岩瀬和市関係史料

(イ) 購入資料 5件 30点

- ・遠江参河駿河甲斐信濃伊豆相模武蔵大地震之図 1 舗
- ・三河国絵図 1 舗
- ・帰鶴物語 1 冊
- ・主図合結記・主図合結城主記 7 冊
- ・越前国明蹟考 20 冊

(ウ) 寄託資料 3件 1,993点

- ・尾崎町熊野神社（相撲奉納額） 文書資料 2 点
- ・上条町内会資料（白山関係） 文書資料 1,989 点
- ・神光寺（白山垂迹曼荼羅） 文書資料 2 点

ウ 展示活動

(ア) 常設展展示替え

月 日	変更箇所	内 容
5 月 18 日	第6章 村の文化 文人丈山の世界	石川丈山資料の展示
8 月 8 日	第4章 東からの風（安城の中世） 三河真宗の美術	博物館実習生による展示 実習
10 月 11 日	第9章 町から都市へ ゆかりの人物	新美南吉資料の展示

(イ) 特別展・企画展

	区 分	名 称	期 間	目標値	実績値
①	企画展	安城の今昔5 はたらく道具 たち 一職人の仕事道具一	4月13日 ～6月30日	7,000 人	5,658 人
②	特別展	ごろごろまるまるネコづくし	7月13日 ～9月8日	9,000 人	10,606 人
③	特別展	国絵図の世界―描かれた江戸 時代の三河―	9月28日 ～11月10日	3,800 人	2,948 人
④	特別展	地震と災難―宝永地震から三 河地震まで―	11月30日 ～1月19日	3,800 人	3,388 人
⑤	企画展	季節を祝う	2月8日 ～3月23日	3,000 人	5,145 人
合 計				26,600 人	27,745 人
参考（5年度）					35,264 人

① 企画展「安城の今昔5 はたらく道具たち ―職人の仕事道具―」

- a 会 期 令和6年4月13日(土)～6月30日(日) 実開館日70日
- b 観覧者数 5,658人【目標7,000人】1日平均81人
- c 期間中の催し物
主なものは「エ 教育普及活動」(P11～)に記載
- d 音声ガイドの利用状況 91人 (利用率2%)
- e パンフレット 1,600冊発行
- f 展示について
 - (a) 展示点数225点
 - (b) 当館所蔵の民具を紹介する「安城の今昔」シリーズの第5回目として、「職人の道具」をテーマに展示を行った。展示は3章構成とし、第1章「職人の仕事と道具」では大工、杣・屋根屋・左官、建具屋、宮大工および生業に関わる職人(鍛冶屋、箆職人)を紹介した。第2章「生活道具と職人」では桶職人・靴職人・和菓子屋、さらに第3章では「安城市内の地場産業と職人」として和泉そうめん、三河花火の職人を取り上げた。
 - (c) 展示構成の検討、資料調査および選定、印刷物の作成のスケジュールが遅れ、展示内容について十分に検討する時間を確保できないまま展示を迎えることになってしまった。
 - (d) 昔の暮らしや道具の紹介という切り口ではなく「職人の道具」としたことで、観覧者の関心を引くことができた。また安城で仕事をしていた職人について、その一端を紹介することができ、改めて地域について知ってもらう機会を提供することができたのは大きな意義があった。
- g 観覧者について
 - (a) 最終観覧者数は5,658人であり、目標達成率は80.8%にとどまった。また観覧者層は見学学習の影響を除くと市内在住・60代・女性が多く、普段の観覧者層とは異なる層であった。
 - (b) 来館のきっかけとして「ポスターやチラシの印象」が多く挙げられた。親しみやすいデザインにより、女性層をとらえることができた。なお「印刷物の印象と展示内容が違った」のような声はなく、概ね好意的な反応を頂いた。
 - (c) 記念講演会について、本展では時期と内容を考慮し当日受付とした。各日とも特にトラブルなく終えることができた。
 - (d) 音声ガイドについては観覧者全体の2%(91人)が利用した。過去の「安城の今昔」展の音声ガイド利用率(1～3%程度)と比べても平均的な利用率だった。
- h PRについて
 - (a) メディアの取材については名古屋圏のテレビ局の取材が3件あり、すべて会期中に放送された。チラシ等の広報文に記載した「安城の地場産業」の文字が目にとまり、取材のきっかけとなったようだった。

② 特別展「ごろごろまるまるネコづくし」

- a 会 期 令和6年7月13日（土）～9月8日（日） 実開催日数 52 日
- b 観覧者数 10,606 人【目標 9,000 人】 1 日平均 203 人
- c 期間中の催し物
主なものは「エ 教育普及活動」（P11～）に記載
- d 音声ガイドの利用状況 644 人 （一般観覧者利用率 6%）
- e 展示について
 - (a) 展示点数 124 点
 - (b) 「猫の浮世絵」に特化し、近世から近代にかけての猫の浮世絵作品のみを集めた展示であった。テーマが明快で、歌川国芳、月岡芳年などの絵師の作品が一堂に会したことから観覧者の満足度が高かった。入館者の動向や来館者アンケート（回答数 1,163 件）の感想を見ると、展示を見に来たきっかけとして「展示のテーマ」と選択した方の割合が 41%と高く、来館者のニーズに合っていたと考えられる。
 - (c) 展示作品数よりもかなり当館の企画展示室は狭いので、仮設壁を設置して対応したが、かなり狭い箇所や動線がわかりづらい場所ができてしまった。
- g 観覧者について
 - (a) 土日は平均 292 人、平日は 149 人の観覧者であり、目標人数を達成することができた。ナイトミュージアムが台風 10 号接近で中止になったことで来館者想定を下回ったが、最終日前日・最終日は観覧者が非常に多く、最終日には観覧者 1 万人突破セレモニーを実施した。
 - (b) 観覧者アンケート結果（回答数 1,163 件）で観覧者の動向を見ると、安城市域の方が約 25%であり、県内市外の方が 66%、県外からも 9%の観覧者動向であった。
- h PRについて
 - (a) ポスター・チラシ等印刷物で企画を知った方が 30.7%と最も多かった。中日新聞社共催のため、名古屋市域にもチラシが配布されたことや、デザインが目につきやすかったと考えられる。指定管理者がポストカードでのPR活動も実施した。
 - (b) SNS発信については指定管理者が Instagram や X にて積極的にPRを行った。また、展示室前のフォトスポットで撮影をした画像や喫茶の特別展関連メニューがSNSに多く挙げられていた。
 - (c) 今回の展示は特に、Instagram の効果が高く、7.2%の方が Instagram で企画を知ったと回答している。女性の来館者が中心であったので Instagram からの誘客が増えたと考えられる。SNS については展示のテーマに合わせて発信先を検討していくことも効果があると考えられる。

③ 特別展「国絵図の世界―描かれた江戸時代の三河―」

- a 会 期 令和6年9月28日（土）～11月10日（日） 実開館日 40 日
- b 観覧者数 2,948 人【目標 3,800 人】 1 日平均 74 人
- c 期間中の催し物
主なものは「エ 教育普及活動」（P11 ページ～）に記載
- d 音声ガイドの利用状況 245 人（利用率 8 %）
- e 展示図録 800 部発行 販売数 269 冊
- f 展示について
 - （a）展示点数 30 点
 - （b）江戸幕府の国絵図作成の流れを説明した後、三河国絵図の内容を深める構成と した。
 - （c）三河国絵図に焦点を当てた展示は、他館も含め初めてだった。江戸時代の国絵図の歴史や役割も含めて、三河国絵図について観覧者に見識を広めることができた。
 - （d）国絵図作成過程が分かる地域の資料（「上吉田村有文書」や「月瀬村文書」の一部）まで知られている例は他の都道府県でも少なく、今回その掘り起こしをすることができた。
 - （e）展示室の暗さ、文字の小ささを考慮した観覧の工夫が不十分だった。双眼鏡を用意したが、ネガティブな評価の方が多かった。
- g 観覧者について
 - （a）市外在住の 40 代から 60 代のリピーターが主要層。
 - （b）展示室には常に観覧者がいるように見えたので、観覧者数が多いように見えたが実際には多くなかった。このことから、観覧者の滞在時間が長かったと推測できる。展示テーマに関心が強く学習意欲の高い方が多かったというアンケート結果とも一致する。講演会・講座の参加人数の多さや観覧者との会話からも学習意欲の高さが実感できた。
- h PRについて
 - （a）10 月 13 日の中日新聞と 11 月 7 日の中京テレビの夕方ニュース後に観覧者が増えており、宣伝効果が高かった。

④ 特別展「地震と災難—宝永地震から三河地震まで—」

- a 会 期 令和6年11月30日（土）～令和7年1月19日（日） 実開催日数 38 日
- b 観覧者数 3,388 人【目標 3,800 人】 1 日平均 89 人
- c 期間中の催し物
主なものは「エ 教育普及活動」（P11～）に記載
- d 音声ガイドの利用状況 335 人 （一般観覧者利用率 10%）
- e 展示図録 800 部発行 販売数 364 冊
- f 展示について
 - （a）展示点数 204 点
 - （b）展示は3章構成とし、第1章「地震への意識と記録」では、江戸中期の地震を紹介し、第2章「幕末を揺さぶる地震」では嘉永・安政年間に頻発した巨大地震を紹介した。第3章「変化する社会と震災」では明治・大正・昭和期それぞれの象徴的な 地震を取り上げた。
 - （c）地元にこだわらず日本各地の様々な地震被害と二次災害を紹介した。一方で、三河に関係する資料も随所に展示を行い、他地域で発生した地震でも、三河にも影響があったことも併せて紹介した。また、展示資料が多いため、こまめに地震ごとのまとまりがわかるパネルを配置したり、注目してほしい史料には翻刻や現代文を置くなどの工夫をした。
 - （d）時代ごとに様々な地域の被害を比較することができ、地震被害の広域性や遠隔地の情報伝達、支援の状況などを概観する機会をつくることができた。
 - （e）展示の対象とする地震の数も多く、様々な地域の資料を選択したため、資料点数が多くなり、動線が混乱した部分があった。
- g 観覧者について
 - （a）最終観覧者数は 3,388 人であり、目標達成率は 89.2%と高い数字になった。県内（市外）からの観覧者が最も多く、年代では 50 代、性別では男性が多かった。
 - （b）1 月中旬には各メディアで阪神淡路大震災等の地震が取り上げられることと比例して来館者の数が急増した。展示期間の後半では親子連れ等の年齢の低い層の観覧者が多くみられた。
- h PRについて
 - （a）三河地震から 80 年に向けて、読売新聞、朝日新聞、中京テレビ等の多くのメディアからの取材を受けた。さらに、キャッチネットワークの番組では展示準備からの取材を受け、展示を知ってもらう機会を増やすことができた。
 - （b）地震への関心が高まる 1 月に指定管理者によるウェブ広告の掲載も効果があり、今まで来館したことが無い層にも展示を観覧してもらうことができた。
 - （c）アンケートにも防災意識が高まったという記述がみられ、エントランスでの指定管理者による防災グッズの販売なども効果があった。

⑤ 企画展「季節を祝う」

- a 会 期 令和7年2月8日（土）～3月23日（日） 実開館日39日
- b 観覧者数 5,145人【目標3,000人】1日平均132人
- c 期間中の催し物
主なものは「エ 教育普及活動」（P11～）に記載
- d 音声ガイドの利用状況 60人（利用率1%）
- e パンフレット 1,600冊発行
- f 展示について
 - (a) 展示点数102点
 - (b) 博物館の収蔵資料を展示する収蔵品展として「節句」をテーマに展示を行った。江戸時代に定められた「五節供」を切り口に、人日・上巳・端午・七夕・重陽に正月を加えた6つの季節を祝う行事を紹介した。展示資料は節句にまつわる民具や和本類、浮世絵などを中心に選定し、計102点を展示することができた。
 - (c) 内裏雛や御殿飾り、五月飾りや幟などの一般的な節句にまつわる民具から、重陽や人日など現代ではなじみが薄くなってしまった節句を紹介することができた。また土人形の雛飾り、七夕の額飾りなど三河地域ならではの節句の習俗についても紹介することができた。
 - (d) 雛祭りの時期でもあり、エントランスで開催していた福よせ雛とも親和性の高い展示となったため、観覧者の関心を大いに引くことができた。「雛祭りに縁がなかったので観覧できてよかった」との声もあり、改めて節句の習慣に触れてもらう機会を設けることができた点で意義のある展示となった。
- g 観覧者について
 - (a) 最終観覧者数は5,145人であり、目標達成率は171.5%となった。また観覧者層は市外在住・60代・女性が多い結果となった。来館回数は5回目以上の回答者が48%、2～4回目が26%だったが、これは前回の企画展と同様の傾向であった。
 - (b) 来館回数等からは読み取りがたいものの、本展には福寄よせ雛のリピーターが多く観覧したとみられ、メディアの露出は少なかったものの相乗効果が得られたと考えられる。一方で福よせ雛のみの観覧にとどまった層も一定数見られた。
 - (c) 記念講演会では歴史・民俗分野ではなく平安文学をテーマとした。昨年大河ドラマの影響もあり、多くの聴講者がみえ熱心に聴講された方が多かった。
 - (d) 音声ガイドの利用率は観覧者全体の1%（60人）にとどまった。各「安城の今昔」展等、過去の民具資料を中心とした展覧会における音声ガイド利用率（1～3%程度）と比べて、低い方ではあるものの平均的な数字と考えられる。
- h PRについて
 - (a) メディアの取材については4件と多くはなかった。しかし指定管理が行ったInstagramインフルエンサーによる広報など SNS 広報との相性が良く、集客につなげることができた。

エ 教育普及活動

(ア) 講演会・講座

a 展覧会記念講演会 会場：講座室 午後2時 聴講無料

開催日	演 題	講 師	聴講者数
5月18日	江戸時代の職人を読み解く	篠宮雄二 氏 (中部大学人文学部歴史地理学科教授)	37
7月13日	浮世絵の猫ブーム	稲垣進一 氏 (国際浮世絵学会常任理事)	34
7月20日	ネコはどうして描かれたか	月本寿彦 氏 (福島県立美術館副主任学芸員)	24
9月29日	国絵図から読む江戸時代	上杉和央 氏 (京都府立大学准教授)	56
10月12日	元禄三河国境縁絵図と元禄日本図	種田祐司 氏 (名古屋城調査研究センター)	44
12月14日	安政東南海地震に学ぶー地震・津波被害の実態理解を通じてー	谷口 央 氏 (東京都立大学人文社会学部教授)	43
1月18日	移住者たちの関東大震災ー被災地・横浜と郷里との関係を中心にー	吉田律人 氏 (横浜都市発展記念館主任調査研究員)	32
3月16日	平安文学から読み解く年中行事ー枕草子・源氏物語を中心にー	勝亦志織 氏 (中京大学文学部日本文学科 教授)	45

合計 315 人

・第14回松平シンポジウム

会場：アンフォーレ ホール 午後1時 資料代100円

開催日	演 題	講 師	聴講者数
11月2日	家康は国替なさるべきにおひては関東に替へ給へー家康三河最後の一年ー	コーディネーター 山田邦明 氏 (愛知大学教授) パネリスト 山下智也 氏 (刈谷市歴史博物館学芸員) 佐藤貴浩 氏 (足立区地域文化課文化財係学芸員) 谷口央 氏 (東京都立大学教授)	(127)

(合計 127 人)

b 歴博講座・入門講座・連続講座

(a) 歴博講座 会場：講座室 午後2時 聴講無料

開催日	演 題	講 師	聴講者数
6月1日	安城の職人と仕事道具	千田佑香 (本館学芸員)	16
8月17日	猫のおもちゃ絵	野上真由美 (本館学芸員)	18

11月9日	新収蔵！三河国絵図を深掘りする	後藤麻里絵（本館学芸員）	40
12月8日	資料から見る三河地震	本部はる香（本館学芸員）	72
3月1日	節句の変遷	千田 佑香（本館学芸員）	19

合計 165 人

(b) 入門講座

会場：講座室 午前10時 500円（全5回分、資料代、常設展観覧料含む）

開催日	演 題	講 師	聴講者数
12月15日	知って、楽しい！ やさしい安城の歴史	小田 健二（本館館長）	中止
1月12日			
2月15日			
3月23日			

(c) 連続講座

「村絵図で巡る安城今むかし」会場：講座室ほか 午後1時30分 資料代1,500円

開催日	演 題	講 師	聴講者数
4月6日	里村1	高山忠士 氏 （本館元館長）	14
4月20日	里村2		13
5月11日	尾崎村		14
5月25日	上条村		15
6月8日	桜井村1		12
6月22日	桜井村2		16

合計 84 人

(d) 連続講座

「安城歴博・中京大学連携講座」会場：講座室 午後2時 各回200円（資料代含む）

開催日	演 題	講 師	聴講者数
10月19日	東海地域と顕密仏教 —三宝院流の展開を中心に—	小池勝也 氏 （歴史文化学科准教授）	10
12月21日	近世における「王権」争奪戦 —将軍と天皇のページェント—	小川和也 氏 （歴史文化学科教授）	25
1月25日	大名庭園の世界 —殿様の「御庭」に集う人びと—	白根孝胤 氏 （歴史文化学科教授）	19
2月16日	家康の手紙 —その真贋を見極める—	馬部隆弘 氏 （歴史文化学科教授）	34
3月15日	笑いのなかの明治 —風刺雑誌『团团珍聞』を中心に—	中元崇智 氏 （歴史文化学科教授）	14

合計 102 人

合計 351 人

(イ) 指定管理 展示関連イベント

開催日	タイトル	関連展示	実施日	参加人数
4月13日～ 6月30日	はたらく道具たちクイズラリー 「じんめんにゃんの見どころクイズ」	企画展「はたらく道具たち」	70日間	718
4月13日～ 6月30日	はたらく道具たちクイズラリー 「職人の技に挑戦！」	同上	同上	612
4月13日～ 6月30日	はたらく道具たちフォトスポット	同上	70日間	219
4月20日	ミニ鯉のぼり染め体験	同上	1日間	19
5月19日	有松鳴海絞り職人による手ぬぐい染め体験	同上	1日間	48
6月8日	豆たたみづくり体験	同上	1日間	20
7月13日～ 9月8日	猫のステンシルで小物づくり体験	特別展 「ごろごろまるまるネコづくし」	52日間	976
7月13日～ 9月8日	猫のうちわづくり体験	同上	同上	413
7月13日～ 9月8日	まるごと猫づくしクイズラリー	同上	同上	1,424
7月13日～ 9月8日	ごろごろまるまるネコづくしフォトスポット	同上	同上	3,849
7月13日～ 9月8日	ネコづくしお気に入りの猫総選挙	同上	同上	6,357
7月13日～ 9月8日	猫の撮影コーナー	同上	同上	1,843
8月30日	ナイトミュージアム「ごろごろまるまるネコづくし」夜間展示解説	同上	1日間	中止
9月28日～ 11月10日	クイズで巡る古地図めぐり	特別展 「国絵図の世界」	40日間	109
9月28日～ 11月10日	国絵図の世界フォトスポット	同上	同上	295
9月28日～ 11月10日	国絵図パズルに挑戦！	同上	同上	611
10月26日	展示担当学芸員に教わる国絵図測量体験	同上	1日間	5

10月27日	安祥城址公園フォトウォークラリー	同上	1日間	20
11月3日	展示担当学芸員に教わる国絵図測量体験	同上	1日間	12
11月30日～ 1月19日	地震と災難クイズラリー	特別展 「地震と災難」	38日間	174
11月30日～ 1月19日	地震と災難フォトスポット	同上	同上	560
12月3日～ 1月19日	地震と災難防災グッズ展示	同上	36日間	4,618
12月7日	防災体験デー「みんなでまなぼうさい」	同上	1日間	956
	防災体験デー「災害対策車両展示」	同上	同上	(111)
	防災体験デー「消防車両展示」	同上	同上	(119)
	防災体験デー「けむり体験」	同上	同上	(65)
	防災体験デー「こども消防服を着て写真を撮ろう！」	同上	同上	(69)
	防災体験デー「防災ゲーム体験」	同上	同上	(109)
	防災体験デー「浸水AR体験」	同上	同上	(137)
	防災体験デー「味噌ボールの味噌汁を飲んでみよう！」	同上	同上	(150)
	防災体験デー「ワークショップ 消防 アクリルキーホルダーを作ろう！」	同上	同上	(14)
	防災体験デー 「アルファ米をGET スタンプラリー」	同上	同上	(182)
12月15日	災害時に役立つ防災クッキング	同上	1日間	18
1月13日	講和「能登半島地震における自衛隊の 災害救助活動について」	同上	1日間	23
2月8日～ 3月23日	なるほど節句クイズラリー	企画展 「季節を祝う」	38日間	571
2月8日～ 3月23日	折り紙で作ろう！節句のかわいい飾り	同上	同上	909

2月8日～ 3月23日	季節を祝うフォトスポット	同上	同上	964
2月15日	ひなまつりインテリアパネルづくり	同上	1日間	5

合計 26,348 人

(ウ) 指定管理 体験講座等

開催日	演 題	講 師	参加人数
5月3日～ 5月5日	鎧の試着会	指定管理者、博物館ボランティア	333
7月26日～ 7月28日	夏休み自由研究相談会	文化振興課職員	48
8月4日	オリジナル風鈴づくり	指定管理者	30
11月2日	昔の遊び体験	指定管理者	32
12月1日	1日子ども学芸員体験会 ① 勉強会	指定管理者、後藤麻里絵（本館学芸員） 協力：安城学園高校 学び探求部	6
12月14日	1日子ども学芸員体験会 ② 学芸員体験	指定管理者、後藤麻里絵（本館学芸員） 協力：安城学園高校 学び探求部	6
2月25日	和菓子職人に教わる桃の 節句の和菓子づくり	清水崇司氏（両口屋菓匠三代目）	21

合計 476 人

(エ) 指定管理 自主事業

開催日	演 題	講 師	参加人数
8月7日	歴史博物館で和小物づくり体験「重ね刷りでうちわを作ろう」「手作り灯籠を作ろう」	指定管理者	5
8月10日 8月24日 9月7日 9月14日 9月21日 9月28日	本格的な紙甲冑を作ろう！	指定管理者	46
8月12日	猫の回り灯籠づくり	指定管理者	22
8月13日	歴史博物館で和小物づくり体験「和柄のしおりを作ろう」	指定管理者	9

8月18日	歴史を楽しく学べるカードゲーム「Hi!story（ハイスト）」体験会	監修：株式会社Highsto 協力：伊與田塾	122
8月21日	歴史博物館で和小物づくり体験「和柄のしおりを作ろう」	指定管理者	7
10月6日	歴史を楽しく学べるカードゲームHi!story 大会&体験会	監修：株式会社Highsto	60
11月22日	歴史を楽しく学べるカードゲームHi!story 体験会	監修：株式会社Highsto	38
2月22日	歴史を楽しく学べるカードゲームHi!story 体験会&自由対戦会	監修：株式会社Highsto	40
3月18日	歴史博物館で和小物づくり体験「折り紙で遊ぼう！しおり人形づくり」	指定管理者	13

合計 362 人

(オ) 指定管理 歴博演芸場 会場：講座室、石舞台 鑑賞無料

開催日	演 題	出演者	参加人数
8月3日	落語会-ごろごろまるまる猫喃-	お好味家喜楽氏 (前座：永頃亭夢雀氏)	42
8月31日	ナイトミュージアム 「和太鼓演奏」	三州輪っ鼓、安祥太鼓	台風の 為中止
9月1日	ナイトミュージアム 「べんてんやちんどんショー」	名古屋のちんどん べんてんや	台風の 為中止
10月5日	安祥文化のさとまつり 「殺陣ショー」	協力：座☆風流堂主宰 楠見彰太郎氏 暮らしの学校安城アンフォーレ校・岡崎校、座☆風流堂 岡崎演劇塾、知立カルチャーセンター	123
10月6日	安祥文化のさとまつり 「和太鼓競演」	安城太鼓会ほだら ほか	70
1月5日	三河万歳「新春招福の初舞」	安城の三河万歳保存会	53
3月22日	和モノフェス 「徳川忍者伝説～闇の関ヶ原～」&殺陣ショウ！	楠見彰太郎氏 原霞外氏 暮らしの学校安城アンフォーレ校・岡崎校、 座☆風流堂岡崎演劇塾、知立カルチャーセンター、貫太郎太鼓	119
3月22日	和モノフェス べんてんやちんどんショー	名古屋のちんどん べんてんや	163

3月22日	和モノフェス 和太鼓演奏	安祥太鼓・三州輪っ鼓	165
3月22日	和モノフェス 太田明紗日 三味線コンサート	太田明紗日	75
3月22日	和モノフェス 雅楽演奏	参州雅楽社中	71

合計 881 人

(カ) 指定管理 歴博イベント

開催日	タイトル	参加人数
4月2日～4月12日	歴史博物館クイズラリー	0
4月14日	懐かしの“車” 写生大会	89
5月19日～6月30日	西尾町内会春祭り くじ引きガチャ	29
6月8日～6月30日	古井ふれあいひろば くじ引きガチャ	25
8月31日～9月1日	ナイトミュージアム「博物館ナイトツアー」	台風の為中止
9月1日	ナイトミュージアム「土器ドキ晩ゴハン」	台風の為延期
9月8日に延期	「土器ドキ昼ゴハン」	39
8月30日～8月31日	ナイトミュージアム「マイブנקエスト」	中止
10月14日	安城古代体感デー	100
	安城古代体感デー「考古学なぞとき『マイブנקエストー 太陽の精白いカラスをさがせ-』」	(22)
	安城古代体感デー「火おこし体験」	(26)
	安城古代体感デー「カラー勾玉づくり体験」	(24)
	安城古代体感デー「缶バッジづくり体験・オープン陶土ではにわづくり体験」	(28)
2月8日～3月23日	歴博福よせ雛	6,892

合計 7,174 人

(キ) その他

- 5月19日（日）は、国際博物館の日（5月18日）にちなみ常設展示を観覧無料にする。
11月22日（日）は、愛知県民の日学校ホリデーにちなみ常設展示を観覧無料にする。

(ク) 指定管理 刊行物

a 特別展・企画展図録（パンフレット）

企画展「はたらく道具たちー職人の仕事道具ー」	A 4	8 頁	1,600 部
特別展「国絵図の世界ー描かれた江戸時代の三河ー」	A 4	88 頁	800 部
特別展「地震と災難ー宝永地震から三河地震までー」	A 4	88 頁	800 部
企画展「季節を祝う」	A 4	8 頁	1,600 部

b 安城歴史研究第50号	A 5	120 頁	250 部
c 安城市歴史博物館研究紀要 第28号	B 5	74 頁	400 部
d 年報 第33号	A 4	68 頁	350 部

e 「れきしみち」 各 A4 8頁 2,500 部
 No.133 7月号、No.134 10月号、No.135 1月号、No.136 4月号

f 催し物案内
 2024 年度下半期 10 月～3 月 88,050 部
 2025 年度上半期 4 月～9 月 88,000 部

(ケ) 見学学習

a 市内小学校（企画・特別展、常設展、埋文セ）見学

月	日	曜	学 校 名	学年	人数	月	日	曜	学 校 名	学年	人数
6	4	火	二 本 木 小	6	117	9	10	火	作 野 小	6	96
6	12	水	桜 井 小	6	163	9	13	金	今 池 小	6	58
6	25	火	安城東部小	6	95	9	20	金	安城南部小	6	97
6	26	水	桜 林 小	6	98	10	30	水	新 田 小	6	58
6	28	金	錦 町 小	6	100	11	1	金	三河安城小	6	113
7	2	火	安城西部小	6	95	11	5	火	梨 の 里 小	6	91
7	3	水	里 町 小	6	89	11	12	火	安城北部小	6	128
7	5	金	志 貴 小	6	41	11	15	金	明 和 小	6	70
7	10	水	丈 山 小	6	109	12	4	水	安城中部小	6	107
7	12	金	祥 南 小	6	43	12	6	金	高 棚 小	6	44
9	6	金	桜 町 小	6	89						
小学校児童数 計										1,901 人	
参考（5年度）										1,780 人	

b 市内中学校（企画・特別展、常設展、埋文セ）見学

月	日	曜	学 校 名	学年	人 数	月	日	曜	学 校 名	学年	人 数
5	9	木	安 祥 中	2	139	11	27	水	安 城 西 中	2	249
5	29	水	桜 井 中	2	243	12	10	火	東 山 中	2	243
6	5	水	安 城 北 中	2	278	12	11	水	明 祥 中	2	141
中学校生徒数 計										1,293 人	
参考（5年度）										1,281 人	

c 市外小中学校（児童・生徒）（企画・特別展、常設展、埋文セ）見学

月	日	曜	学 校 名	学年	人 数	月	日	曜	学 校 名	学年	人 数
			なし								
市外小中学校児童生徒数 計										0 人	
参考（5年度）										0 人	

(コ) 中高生の職場体験

a 市内中学校2年生・高校1年生

学 校 名	展示 見学	土器 洗い	土器 づくり	学芸員 講話	見学学 習補助	作業 手伝い	発掘 体験	取材 その他	備 考
篠目中	○	○	○	○	○	○		○	4日間 7人
明祥中	○	○	○	○	○	○	○	○	4日間 1人
	○	○	○	○	○	○	○	○	2日間 2人
安南中	○	○	○	○	○	○	○	○	4日間 2人
桜井中	○	○	○	○	○	○	○	○	4日間 3人
	○	○	○	○	○	○	○	○	2日間 1人
安祥中	○	○	○	○	○	○	○	○	3日間 3人
安城高校	○		○	○			○	○	1日間 1人
参加生徒数 計									19人
参考(5年度)									9人

b 市外中学校

学 校 名	展示 見学	土器 洗い	土器 づくり	学芸員 講話	見学学 習補助	作業 手伝い	発掘 体験	取材 その他	備 考
豊田市猿投中	○	○	○	○	○	○	○	○	2日間 1人
岡崎市翔南中	○	○	○	○	○	○	○	○	3日間 3人
参加生徒数 計									4人
参考(5年度)									0人

(サ) 博物館実習

博物館学芸員養成講座を持つ大学からの要請により実習を行った。

a 期 間：7月31日(水)～8月2日(金)、6日(火)～8日(木) (6日間)

b 実習生 立教大学1人、三重大学1人、愛知学院大学1人 計3人

c 実習日程

開催日	午 前	午 後
7月31日	博物館業務(講義) 博物館見学	文化財保護行政(講義) 芸術文化行政(講義) 埋文センター・市民ギャラリー見学
8月1日	歴史資料の取り扱い	歴史資料の取扱い 企画展示の流れ(講義)
2日	常設展示室の展示替え	博物館と学校見学(講義) 美術資料の取り扱い
6日	民俗史料の取扱い	民俗資料の取り扱い 常設展示室の展示替え
7日	考古資料の取り扱い	考古資料の取り扱い 常設展示室の展示替え
8日	常設展示室の展示替え	展示替えプレゼンテーション 常設展示室の展示替え

(シ) 出前授業等

月 日	演題	対象	講師	参加人数
6月1日	安城松平	安城ふるさとガイドの会	本部	30
6月13日	安城の職人と仕事道具	安祥公民館高齢者教室	千田	60
7月9日	安城松平と家康について	南部小学校	三島	93
7月11日	安城松平	東部公民館高齢者教室	本部	92
9月14日	安城松平	印内ことぶき会	千田	48
9月27日	三河真宗と安城	二本木公民館	千田	38
10月20日	人面文土器と鹿乗川流域遺跡群	桜井和祥会	後藤	36
11月17日	人面文土器と鹿乗川流域遺跡群	新田連合町内会	後藤	33
1月19日	あなたの知らない東海道	北部公民館	三島	15

合計 445 人

オ 地域連携活動

(ア) 博物館ボランティア

開催日	活動内容	参加人数
9月11日～11月28日(延7日)	一般向け常設展示解説	154
5月12日～3月23日(延22日)	常設展ガイド (第2・4日曜日)	248
6月25日～12月6日(延19日)	見学学習対応 (解説・火起こし補助)	1,621
5月3日～12月18日(延7日)	イベント対応	409

合計 2,432 人

参考 常設展ガイドの案内人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	—	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22
参加人数	—	64	19	23	26	24	33	23	14	10	5	7	248

*原則、毎月第2・第4日曜日に実施。

(イ) 学校教育活動への支援

小学3年生の「昔の道具」学習などに対し、民具資料を貸し出し。(0件)

(ウ) 指定管理事業

a 体験講座講師、歴博イベント講師として、市内団体や市民の方に依頼した。

(a) 西尾町内会 春祭りブースに出展

春祭り会場では缶バッジづくりを実施。会場で作った缶バッジを博物館に持参すると景品を進呈し、博物館来館を促した。

- (b) 古井町内会 ふれあい広場ブースに出展
ふれあい広場会場では缶バッジづくりを実施。会場で作った缶バッジを博物館に持参すると景品を進呈し、博物館来館を促した。
- (c) 地元町内会のさとまつりへの協力依頼
東尾町内会、西尾町内会、古井町内会の皆さんに、さとまつりの運営に協力いただくよう依頼した。東尾町内会は東尾八幡社の「さとまつり」限定の御朱印頒布、それ以外に3町内会の皆さんには総合受付内のクイズラリー景品引き換えを担当いただいた。
- (d) 近隣商店街との協働
朝日町商店街振興組合に、展覧会チラシ配布やポスター掲出の協力を依頼した。
- (e) 講師や団体に出演依頼
市内在住の講師や団体に講師を依頼した。
「ごろごろまるまる猫喃」市内在住の落語家・お好味家喜楽氏に出演を依頼。
「災害時に役立つ防災クッキング」安城防災ネットに講師を依頼。
「能登半島地震における自衛隊の災害救助活動」自衛隊愛知地方協力本部安城募集案内所の広報官に講話を依頼。
「桃の節句の和菓子づくり」市内の和菓子店・両口屋菓匠の三代目に講師を依頼。
- (f) 市内カルチャースクールの講座生に出演依頼
市内カルチャースクールで殺陣講座を受講している生徒に、安祥文化のさとまつり、和モノフェスの石舞台ステージに出演いただき、殺陣を披露していただいた。
- (g) 防災体験デーを実施
「地震と災難」展関連イベント「防災体験デー・みんなでまなぼうさい」では、安城消防署、安城市役所危機管理課、安城防災ネット、一杯の味噌汁プロジェクトの市内の関係機関に協力を依頼して、防災の啓発イベントを実施した。
- (h) 1日子ども学芸員での協働
「1日子ども学芸員」を安城学園高校学び探究部とともに実施。参加した子どもたちの指導やフォローなどを学び探究部部員に協力いただいた。
- (i) 今年度より市職員とともに博物館ボランティアの活動に参画した。ポイントカードを作成し、10回活動ごとに喫茶店で使用できるドリンクチケットを用意するなど特典を提供した。鎧の試着会の着付け、各種イベントのお手伝い、福よせ雛の参加者を募集して、活動機会を創出した。

カ 指定管理者によるその他事業

(ア) PR・広報等

a HPアクセス数

年度	総 数	1 ヶ月あたり	1 日あたり
平成 28	63,695 件	5,308 件	174 件
平成 29	44,571 件	3,714 件	122 件
平成 30	44,796 件	3,733 件	124 件
令和元	44,156 件	3,679 件	120 件
令和 2	74,051 件	6,171 件	205 件
令和 3	189,054 件	15,754 件	518 件
令和 4	92,414 件	7,701 件	253 件
令和 5	119,321 件	9,943 件	331 件
令和 6	149,353 件	12,446 件	414 件

b SNSの更新 ※末尾()内の数字は令和5年度実績

(a) Facebook (フェイスブック) 投稿数 257 回 (132)

(b) X 405 ツイート (431)

(c) Instagram (インスタグラム) 投稿数 337 回 (184)

※安城市民ギャラリー、安祥城址公園の投稿も含む

(d) SNS広告

- ・特別展「ごろごろまるまるネコづくし」 Instagram・Facebook 広告
 (8月10日～8月12日) 3日分
 (8月13日～8月18日) 6日分
 (8月23日～8月25日) 3日分
 (8月5日～9月8日) 3日分
- ・特別展「地震と災難」Instagram・Facebook 広告
 (1月8日～1月18日) 11日分
- ・特別展「地震と災難」Yahoo!広告 (11月30日～12月20日) 21日分
 (1月7日～1月15日) 9日分
- ・企画展「季節を祝う」Instagram インフルエンサー配信
 (2月22日～3月23日) 30日分
 (3月6日～3月23日) 18日分

c 新聞等でのPR ※末尾()内の数字は令和5年度実績

(a) 広告掲載 12 回 (21)

- ・企画展「はたらく道具たちー職人の仕事道具ー」
 Nagoya art news No196 4月-5月
 Nagoya art news No197 6月-7月
- ・特別展「ごろごろまるまるネコづくし」
 Nagoya art news No198 8月-9月
 中日新聞朝刊広告 「中部新時代 2024 西三河」 5月22日掲載
 中日新聞朝刊開催社告 7月2日掲載
 中日新聞 「作品解説 (上)」: 西三河版 7月18日掲載
 中日新聞 「作品解説 (下)」: 東西三河版 7月19日掲載

- 中日新聞広告 8月2日掲載
- ・特別展「国絵図の世界―描かれた江戸時代の三河―」
Nagoya art news No199 10月-11月
中日新聞広告 10月4日
- ・特別展「地震と災難―宝永地震から三河地震まで―」
Nagoya art news No200 12月-1月
- ・企画展「季節を祝う」
Nagoya art news No201 2月-3月
- (b) 新聞等掲載(報道機関発表、掲載依頼) 58回(60)
 - ・企画展「はたらく道具たち―職人の仕事道具―」
中日新聞 朝刊 西三河版 会場取材記事 4月18日掲載
安城ホームニュース 5月10日掲載
中日新聞 朝刊 西三河版 イベント取材記事(豆たたみづくり)6月9日掲載
ケーブルテレビ KATCH「KATCH TIME 30」4月15日放送
P i t c h F M Pitch HAPPY 市場「まちかどリポート」4月17日放送
P i t c h F M「まちのまど」4月18日放送
ケーブルテレビ KATCH アートナビ(KATCH TIME 30) 4月18日放送
テレビ愛知「5時スタ」5月20日放送
東海テレビ「FNN Live News days」内 地域ニュース 5月23日放送
P i t c h F M「まちのまど」5月24日放送
中京テレビ「ストレイトニュース」6月25日放送
市役所デジタルサイネージ 4月8日～6月28日
アンフォーレ館内電子案内板 4月13日～5月13日
安城フリモ6月号掲載
東海W a l k e r 2024 春イベントカレンダー
 - ・特別展「ごろごろまるまるネコづくし」
月刊なごや No. 501 「街のミニ情報」7月1日掲載
毎日新聞朝刊 「ぐるっと東海」7月6日掲載
朝日新聞朝刊総合面 「美術館・博物館」7月10日掲載
安城ホームニュース 7月12日掲載
中日新聞朝刊県内版 7月13日掲載
中京テレビ 7月15日放送
CBCテレビ 7月18日放送
P i t c h F M「ハッピーマーケット」7月24日放送
東海W a l k e r 2024 夏イベントカレンダー
KATCH「キャッチタイム30 アートナビ」8月1日放送
安城ホームニュース 8月23日掲載
中日新聞「来場者1万人記念」西三河版 9月10日掲載
安城ホームニュース「来場者1万人記念」9月27日掲載
 - ・特別展「国絵図の世界―描かれた江戸時代の三河―」
『c h a o o』10月号「ぶらりミュージアムさんぽ」9月15日掲載
P i t c h F M「まちのまど」9月26日放送
安城、刈谷、知立、碧南、高浜ホームニュース 9月27日掲載
『ぶらりん』10月号 招待券プレゼント 9月30日掲載
キャッチタイム30 9月30日放送
おでかけガイド10月-3月
東海テレビ 昼のニュース内 10月8日放送
P i t c h F M「ピッチハッピー市場」10月11日放送

中日新聞朝刊 三河版 10月13日掲載
 キャッチアートナビ 10月17日放送
 デンパーク 「安城の日」、「大関ヶ原2024」にてPR 10月19日、20日
 刈谷市体育館にてPR 11月3日放送
 中京テレビ 夕方のニュース内 11月7日放送
 東海Walker 2024 秋イベントカレンダー

・特別展「地震と災難―宝永地震から三河地震まで―」

安城ホームニュース 11月22日掲載
 毎日新聞 「ぐるっと東海」 11月30日掲載
 中日新聞 朝刊 西三河版 11月30日掲載
 朝日新聞 朝刊 三河版 1月11日掲載
 読売新聞 朝刊 県内版 1月14日掲載
 キャッチネットワーク『地域と今』で特別展特集 11月13日放送
 CBCテレビ 夕方のニュース内 12月8日放送
 東海テレビ 昼のニュース内 12月18日放送
 中京テレビ ウェブニュース 1月8日配信

・企画展「季節を祝う」

CBCテレビ ウェブニュース 1月8日配信
 信濃毎日新聞 2月20日掲載
 安城ホームニュース 2月28日掲載
 中日新聞 2月28日掲載
 エフエム EGAO 「ひるBAN」市民レポーター取材 3月5日放送
 Pitch FM 「まちかどリポート」 3月7日放送
 中日新聞 朝刊 西三河版 3月23日掲載

(c) 新聞折り込みチラシ 3回 (3)

d その他

- (a) 企画展・特別展ともに関連する県内外の施設や大学・専門学校、市内の高齢者福祉施設に、展覧会チラシを送付して広報を実施した。
- (b) 企画展・特別展ともにプレスリリースを制作し、テレビ局・新聞社等に情報発信を実施した。
- (c) 「ぷらす珈琲店」「さとてらす」(10月より名称改め)では特別展・企画展の内容にちなんだコラボメニュー(フード・ドリンク・デザート)を提供。食の観点から展示を盛りあげる事業として令和6年度のすべての特別展・企画展で実施した。
- (d) 特別展「ごろごろまるまるネコづくし」では、8月11日、豊橋市の「こども未来館 ここにこ」で開催されたイベント「こども古代まつり」に出展。展示PRと展示ステんシルのうちわ作り体験を実施した。
- (e) 特別展「ごろごろまるまるネコづくし」では、丈山苑で開催された「みんなで描こう! 福招きネコにゃん」の参加者に、8月24日、25日、31日、9月1日の計4日間にわたり、100円割引券付きポストカードを配布した。
- (f) 特別展「ごろごろまるまるネコづくし」では、和装割引を実施し、安城市内の呉服店にチラシ・ポスター設置を依頼した。
- (g) 特別展「ごろごろまるまるネコづくし」では、安城七夕まつりの開催日の8月4日にアンフォーレ内(きらぼしコーナー)にて展示PRのブース出店を実施し、オリジナルうちわ作り体験を実施した。

- (h) 10月19日、20日に、デンパークで開催された安城の日に出展。歴史博物館のステンシル体験を行いながら特別展「国絵図の世界」のPRを実施した。
- (i) 11月3日、特別展「国絵図の世界」では、刈谷市体育館 シーホース三河 PR ブース出店を実施し、展示PRとともにSNSフォローで観覧料100円割引券とオリジナル国絵図ファイルを進呈した。
- (j) 10月12日に、西尾市で開催された西尾城まつり、10月19日・20日の「大関ヶ原祭」に出展。御城印を販売しながら特別展「国絵図の世界」のPRを実施した。
- (k) 11月22日に「あいち県民の日学校ホリデー」の参画事業として、常設展を観覧無料にし、歴史カードゲーム「Hi! story」体験会を実施した。
- (l) 11月23日に、東尾町内会の防災訓練が安祥公民館・安祥城址公園で実施された防災訓練に参加した市民に「地震と災難」展の観覧料100円割引券を配布し、展示のPRを行った。
- (m) 11月24日に、大高緑地公園で開催された「サムライニンジャフェスティバル」に出展。歴博のオリジナルグッズを販売しながら博物館のPRを実施した。
- (n) 企画展「季節を祝う」では、安城市内の呉服店にチラシ・ポスター設置を依頼し、和装で来館された方への和小物プレゼントの特典をPRした。
- (o) 3月1日、あいち朝日遺跡ミュージアムで開催された「体験！弥生ムラ」でブース出展。博物館のPRとじんめんにゃんのステンシルで巾着づくり体験を実施した。
- (p) 3月1日・2日は「につぼん城まつり」にブース出展をおこない、御城印、安城松平家4代武将キャラクターのオリジナルグッズの販売と博物館リーフレットを来場者に配布した。

(イ) 安祥文化のさと会員

6年度会員数 227 名（5年度：261 名）

内容：会費 600 円

入会特典

情報誌「れきしみち」・展覧会チラシ等を発送

会員証提示で年間を通じて常設展観覧料が無料

会員証提示で博物館の有料展示観覧料が2割引

ぷらす珈琲店のお食事・ドリンク 500 円割引

会員限定「さとスタンプラリー」でスタンプ数に応じた景品をプレゼント

(ウ) JAF会員優待サービス

6年度利用者 750 人（5年度：1,004 人）

JAF 会員証提示で常設展 2 割引

JAF のホームページに施設案内が掲載される

(エ) 福利厚生倶楽部会員優待サービス

6年度利用者 26 人（5年度：11 人）

福利厚生倶楽部会員証提示で常設展 2 割引

福利厚生倶楽部のホームページに施設案内が掲載される

(オ) J R東海 E X旅先予約サービス登録

6年度利用者 284 人

特別展「ごろごろまるまるネコづくし」観覧料を 200 円割引

J R東海 E X旅先予約のホームページに専用サイトが掲載され、当ホームページを利用して観覧予約を実施するサービスを実施した

(カ) あいち・なごや周遊観光パスポート

6年度利用者 433 人（期間：令和 6 年 7 月 22 日～令和 7 年 1 月 31 日）

県内の美術館・博物館等に、平日に無料入館できるパスポート事業に参画。常設展観覧料を無料にしてサービスを提供した。

(キ) ミュージアムショップ

特別展・企画展にあわせて、関連する書籍を選定して販売をおこなった。また展示内容にあわせ、ガチャガチャの種類を選定して仕入れた。

偉人がモチーフとなった歴史を学べるカードゲーム「Hi!story（ハイスト）」の体験会を開催したことで、「Hi!story」のカード各種を販売。また、特別展「地震と災害」にあわせて、キャンプ用品を取り扱う LOGOS 協力のもと最新の防災グッズを展示するとともに防災グッズも販売した。

(ク) 公園事業

開催日	事業名	参加人数
5 月 19 日	さとのマルシェ	529
6 月 22 日	さとのマルシェ	628
6 月 22 日	さとのマルシェパフォーマンスステージ (ヒップホップダンスMM愛、ハーラウ フラ オカ マハロアイ、エル・アモール)	142
8 月 30 日	さとのマルシェ	台風の為中止
8 月 30 日	L'eclat チアダンス	台風の為中止
8 月 31 日	さとのマルシェ	台風の為中止
9 月 1 日	さとのマルシェ	台風の為中止
10 月 5 日	さとのマルシェ	734
10 月 6 日	さとのマルシェ	736
10 月 14 日	さとのマルシェ	384
11 月 2 日	さとのマルシェ	中止
11 月 30 日	さとのマルシェ	437
11 月 30 日	子どもと家族の青空写真撮影会	36
11 月 30 日	秋のBOOKガーデンイベント	40
12 月 7 日	防災体験デー「飲食ブース」	120

3月22日	さとのマルシェ	593
3月22日	おちょこで苔玉づくり	55

合計 4,434 人

キ その他

(ア) 県民の日学校ホリデー

11月22日に「あいち県民の日学校ホリデー」の参画事業として、常設展を観覧無料を実施。また歴史カードゲーム「Hi! story」体験会を実施した。

(イ) 公民館・福祉センターと連携

安祥公民館まつり、安祥福祉センターまつりにあわせて、3館を巡るスタンプラリーを実施した。

(ウ) さとのマルシェ

マルシェ開催日にあわせて同時開催のイベントを企画し、公園の賑わいを演出するとともに展示観覧者数の増加を図った。

(2) 令和7年度事業計画案

ア 今年度の方針（重点努力目標）

- (ア) 引き続き収蔵庫の整理を進め、収蔵品の把握に努めるとともに、次年度には収蔵品展が行えるようにする。
- (イ) 特別展・企画展は、観覧者の目線を意識した展示に努める。展示意図を明確にし、一般の人にわかりやすい解説にする。
- (ウ) 常設展示室の展示替えを体系的に実施する。
- (エ) 調査研究を進めるとともにその成果として研究紀要発刊のための原稿作成をする。
- (オ) 指定管理者のノウハウを活かして、集客を促す広報PR展開を実施する。
- (カ) 安祥文化のさとまつり・ナイトミュージアムの開催による施設PRを充実する。
- (キ) ミュージアムショップは、展覧会の企画と連動したグッズを展開し、更なる充実を図る。

イ 収集・保管活動

収蔵品整理 5,000 点を目標に進める。

ウ 展示活動

(ア) 常設展

展示替えの実施

第3章 西からの風（顔のメッセージ）、第5章 百姓の世界（海ぞいの道）、第9章 町から都市へ（町のくらし）その他随時。

(イ) 特別展・企画展

a 令和7年度

種別	名 称	期 間	目標値 (人)
企画展	日本デンマークと呼ばれた時代 ー100年前の碧海地域と農業ー	4月19日～6月29日	6,000
特別展	空襲に備えよ ー総力戦下の家庭防空ー	7月19日～8月31日	5,000
特別展	日本妖怪展	9月13日～11月3日	9,300
特別展	三河三白山 (仮)	11月22日～1月18日	3,500
企画展	収蔵品展 近世の村 (仮)	2月7日～3月22日	3,000
合 計			26,800

b 参考 令和8年度 予定

種別	テーマ (仮題)	期間	備考
企画展	石川丈山	4月～6月	収蔵品展
特別展	企画協力展	7月～9月	企画協力
特別展	安城ゆかりの大名 内藤家 (仮)	9月～11月	
特別展	縄文～古墳までの墓 (仮)	11月～1月	
企画展	収蔵品展 (仮)	2月～3月	収蔵品展

エ 教育普及活動

(ア) 講演会・講座・シンポジウム

- a 特別展・企画展の記念講演会
- b 連続講座「村絵図で巡る安城今むかし」 (全4回)
- c 連続講座 (下半期は計画中)
- d 入門講座 (下半期は計画中)
- e 松平講演会

(イ) 展示関連イベント

- a ミニ鯉のぼり染め体験
- b 日本デンマーククイズに挑戦!
- c ボードゲームー「日本丁抹」体験会ー
- d オリジナルボードゲーム「日本丁抹」で遊ぼう!
- e 昔のレシピを再現! 「丁抹うどん」を作ろう!
- f 日本デンマークのお座敷文化レクチャーコンサート～安城芸妓とお座敷唄の会～
- g 回り灯籠づくり
- h 空襲に備えよクイズラリー
- i 平和へのメッセージをこめた折り鶴を折ろう!
- j 妖怪を探せ! 日本妖怪クイズの旅
(下半期は計画中)

(ウ) 夏休み事業

- a 自由研究相談会
- b ナイトミュージアム
- c オリジナル風鈴づくり

(エ) 歴博演芸場・ミニコンサート

- a 和太鼓による演奏
- b 三河万歳（下半期は計画中）

(オ) 刊行物

- a 特別展図録
- b 企画展パンフレット
- c 文書史料集成

(カ) その他

- a 見学学習
- b 職場体験学習
- c 博物館実習
- d 出前授業

オ 地域連携活動

(ア) 博物館ボランティア

- a 常設展示ガイド（随時）
- b 見学学習対応
- c 安祥文化のさとまつり
- d 研修

(イ) その他

- a 地域団体・市民講師の活用
- b 近隣施設との連携
- c 安城駅前商店街との連携
- d 近隣の教育機関との連携
- e 県内外市町村との連携

カ その他

(ア) 国際博物館の日（5月18日）にちなんで、5月18日（日）は常設展示が無料で観覧可。

(イ) 安祥文化のさと WEB サイトのリニューアルを実施。

安城市歴史博物館特別展開催要項(案)

- 1 名称 特別展「空襲に備えよ―総力戦下の家庭防空―」
- 2 期間 令和7年7月19日(土)～8月31日(日)
月曜日休館(祝日の場合は開館)、実開館日数40日
- 3 主催 安城市歴史博物館
- 4 会場 安城市歴史博物館 企画展示室
- 5 観覧料 500円 中学生以下無料

6 趣旨

日本は昭和17年(1942)4月18日に初めて戦略的な本土空襲を受け、日本が降伏するまで空襲は断続的に続きました。市域は大規模な空襲を受けることはありませんでしたが、昭和20年7月20日の岡崎空襲の際に上条町や安城町、小川町には焼夷弾が投下され、明治航空基地(東端町他)の周囲ではたびたび空襲や機銃掃射を受けました。市域の人々も空襲警報が鳴ると防空壕に隠れ恐怖に震えていたという証言が伝わっています。日中戦争が始まった昭和12年に防空法が制定されると防空訓練は本格化し、一般市民も日常的に空襲へ備えるようになりました。本展覧会では、銃後の防空活動に焦点を当て戦争が身近に迫る様子を紹介します。

7 展示構成

第1章 総力戦体制の確立

昭和13年(1938)の国家総動員法の制定等により、戦争が徐々に日常に入り込んでいく様子を紹介します。

第2章 防空ハ家庭カラ

当時は当たり前になっていた家庭での防空対策や防空訓練について紹介します。

第3章 本格化する本土空襲

昭和17年(1942)4月18日に初めて戦略的な本土空襲を受けると、日本が降伏するまで断続的に空襲は続きました。各地の空襲を交えながら、市域の防空活動を取り上げます。

8 関連行事

(1) 特別展記念講演会

「総力戦下の銃後と防空体制」

8月30日(土)午後2時

講師:長 志珠絵 氏(神戸大学教授)

(2) 歴博講座

「遺跡からみた安城の防空」

8月2日(土)午後2時

講師:後藤麻里絵(本館学芸員)

(3) 展示解説

7月27日(日)、8月17日(日)午後2時

小中学生向け 8月10日(日)午前10時

9 印刷物

ポスター(B2判) 1, 100枚、チラシ(A4判) 10, 000枚、

観覧券8, 000枚(一般5, 000枚、招待3, 000枚)

図録800部(カラー、A4判、約80ページ、価格未定)

特別展「日本妖怪展」開催要項(案)

- 1 名 称 特別展「日本妖怪展」
- 2 開催期間 令和7年9月13日(土)～11月3日(月・祝) 実日数47日
- 3 主 催 安城市歴史博物館・中日新聞社
- 4 企画協力 東映株式会社 湯本豪一記念日本妖怪博物館 (三次もののけミュージアム)
- 5 趣 旨

妖怪は、その時代の社会背景・不安・興味などを映し出す「社会の鏡」として表現されてきました。また、日本人の郷愁の念と結びつき、その土地々々の風土・風習と密接につながりながら独自の世界を形成してきました。そこには、神々を起源とするもの、不思議な事象を説明するためのもの、呪術的なもの、そして現在の都市伝説まで様々な起源が考えられています。また、古くから妖怪を芸術として、娯楽として、そして身近なキャラクターとして楽しんでことにとり、妖怪文化は時代とともに広がり、現代では妖怪は世代を超えたブームとなり、アニメを通じたキャラクターとしても親しまれています。

今回の特別展では、広島県三次市の「湯本豪一記念日本妖怪博物館 (三次もののけミュージアム)」から資料をお借りします。同館は川崎市市民ミュージアム学芸員・学芸室長を歴任し、妖怪研究家としても知られる湯本豪一氏が収集した絵巻、錦絵、着物、焼き物、映画ポスターなど約5,000点の妖怪コレクションの無償譲渡を受け、平成31年4月に開館しました。今回は日本一の妖怪コレクションと言われる湯本氏のコレクションから、妖怪の姿や妖怪文化の広がりを紹介します。

- 6 会 場 安城市歴史博物館 企画展示室
- 7 観 覧 料 700円 ※中学生以下無料
- 8 展示構成 作品点数約150点
- (1)はじめにー身近な妖怪たちー

全国各地には、それぞれの土地の成り立ちや自然、気象条件、歴史、言い伝え等と関わりを持ちながら独自の妖怪伝説が存在します。また、その伝説にちなんだ資料や作品が存在します。

ここでは、愛知県にゆかりのある妖怪を紹介していきます。

【主な出品資料】尾州の人面蛇、歌川豊国「古猫の怪」(本館蔵)

(2)広がる妖怪絵巻の世界

絵巻には、平安時代から様々なテーマが描かれてきました。当初は源頼光など武士の勇猛ぶりが主題でしたが、時代を経ると、妖怪が主役として描かれる絵巻が登場します。その記念碑的な存在が、妖怪たちの行列を描いた百鬼夜行絵巻です。江戸期になると、妖怪を主題にした多様な妖怪絵巻の世界が展開します。

ここでは、様々な妖怪絵巻の世界を紹介します。

【主な出品資料】百鬼夜行絵巻、付喪神絵巻など

(3)極彩色の妖怪たちー妖怪錦絵ー

江戸期に木版印刷による出版文化が発展すると、妖怪を題材とした錦絵が出版され、妖怪文化の広がりに大きく貢献し、妖怪を人々の身近なものにしていきました。明治期には新聞の妖怪記事を錦絵とした錦絵新聞も出版され、月岡芳年などが活躍しました。

ここでは、妖怪を題材とした錦絵を紹介していきます。

【主な出品資料】歌川国長「源頼光公館土蜘蛛妖怪出現図」、月岡芳年「新形三十六怪撰」(本館蔵)

(4)不思議な生き物ー幻獣ー

江戸期の人々は妖怪だけでなく、さまざまな不思議な生き物の存在を信じていました。河童や人魚などに代表される不思議な生き物「幻獣」は各地でさまざまな伝説となり、ある時は恐れられ、ある時は信仰の対象になりました。江戸期以降には河童や人魚は錦絵や版本の題材となるだけではなく、ミイラとされるものも数多く残されています。

また、幻獣の中には、未来を予言する「予言獣」という区分があります。予言の内容はほとんどが豊凶と疫病の発生をセットにしたものでしたが、どちらか片方のこともありました。予言獣は姿を描いて拝んだり、門口に貼ることで悪病除けになるとされました。

ここでは、世にも不思議な生き物「幻獣」の出現した背景や広がりについて紹介していきます。

【主な出品資料】肥後の三足予言獣、河童図、赤水虎ミイラ、人魚のミイラなど

(5) 物の怪大集合—妖怪本の世界—

江戸期に木版印刷による出版文化が発展すると、妖怪を題材とした妖怪本が多数出版され、妖怪をより身近な存在としていきました。

ここでは、妖怪図鑑的な版本や、妖怪の話が絵と文章で展開される草双紙類、江戸中期に三次を舞台として「稲生物怪録」といった肉筆の妖怪本まで多種多様な妖怪本を紹介していきます。

【主な出品資料】稲生物怪録、絵本百物語など

(6) 生活の中にひそむ妖怪

江戸期の妖怪は恐ろしいものばかりではなく、非常に身近な存在として認識されていました。それを裏付けるものとして遊びや身に着けるものに妖怪が登場してきます。これこそ日本人が非常に得意とするキャラクター化であり、畏怖する存在である妖怪がデザインとなり、より身近な存在になっていきました。

ここでは、生活の中にひそむ妖怪の存在から、妖怪文化の広がりについて紹介していきます。

【主な出品資料】幽霊骸骨図刺子半纏、幻獣図古伊万里鉢、新版妖怪飛廻雙六、鬼図絵馬、鍋島化け猫騒動(伝单)など

9 関連事業

(1) 記念講演会

9月13日(土)14:00～「妖怪文化の広がり」

講師:湯本豪一氏

(湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)名誉館長)

(2) 歴博講座

11月2日(日)14:00～「本館蔵、月岡芳年 新形三十六怪撰について」

講師:野上真由美(本館学芸員)

(3) 展示解説

令和7年9月21日(日)午後2時から

令和7年10月11日(土) 午前10時から

10 印刷物

- ・ポスター B2・A2判、オールカラー
- ・チラシ A4判、表裏オールカラー